

令和8年4月8日

「ラーケーション ～体験活動推進日～」の実施について（お知らせ）

茨城県立石岡第二高等学校長 宮地 富雄

これからの社会では、自己の在り方生き方を考えながら、課題を発見し解決していくことができる力が求められています。そのような力を身に付けるためには、地域に出かけたり、多くの人と出会ったりする体験活動を通して学んでいくことが有効です。

茨城県では、生徒がそのような時間を取ることができるよう、年間最大5日間の「体験活動推進日」を設定しました。

本校では、地域に貢献できる人材を育成するため及び将来の進路決定に役立てられるよう、総合的な探究の時間等を活用し、フィールドワークやインターンシップ等の行事を行っておりますが、本校での各教科の学びや総合的な探究の時間で体験したことを、より追究し将来に役立てられるよう、裏面の実施要項のとおり「ラーケーション ～体験活動推進日～」の機会を活用できることといたします。

活用を希望する場合は、実施要項に従い、別紙の申請書及び計画書の提出、実施後は報告書の提出をお願いいたします。

問い合わせ先 石岡第二高等学校 TEL 0299-23-2101
--

「ラーケーション ～体験活動推進日～」実施要項

- 1 目的 様々な体験学習を経験することで、本校での学びを追究し、基礎的・基本的な学力と豊かな人間性を育み、進路希望の実現と地域に貢献できる人材の育成を図る。
- 2 活用日 年間5日間
次の期間は除く
ア 各種テスト1週間前からテスト終了後1週間
※業者テストの場合は1週間前のみ
イ 成績不振、提出物の未提出等により、補習等を行う日
ウ 紫鏡祭、探究活動発表会など文化的行事の1週間前から終了後
エ 4月（年度始め～4月20日まで）
オ 1年生は夏休み前まで
- 3 申請方法 実施日の1週間前までに下の必要書類を担任に提出する。
ア 申請書（様式1）※保護者押印
イ 計画書（様式2）
- 4 活用中の出欠 出席停止として扱い、欠席としない。
- 5 活用中の学びの保障 活用中の学習内容については、各担当教科が補習又は課題の提出等により学習の保障を行う。生徒は各教科担当の指示に従うこと。
- 6 実施後 報告書（様式3）を提出する。
※報告書の提出をもって、出席停止扱いを認める。
- 7 活動中の保険 実施前に各家庭で個別に保険に加入をお願いいたします。
学校の管理下の活動ではないため、学校で申し込んでいる保険は適用にならないのでご注意ください。
- 8 保護者へのお願い
ア 申請前に「何を体験し、その体験を通して何を学びたいのか」「将来にどのように活かしていきたいのか」、よく考えて計画を立ててください。
イ 体験活動場所等への申し込みや交渉が必要な場合は保護者の責任でお願いいたします。
ウ 各書類を学校へ提出する前に必ず、生徒と一緒に確認をお願いいたします。

校長	教頭	事務長	教務主任	学年主任	担任

様式1

ラーケーション～体験活動推進日～ 申 請 書

学年 組 番

生徒氏名

上の者について、次の理由により体験活動を行いますので申請いたします。

申請理由

--

体験活動日（期間）令和 年 月 日（ ）
～ 令和 年 月 日（ ）

体験活動場所（名称・住所・連絡先・担当者）

名称

住所・連絡先

担当者（いる場合のみ）

保護者の参加 有・無 ○をつける

保険の加入 有・無 ○をつける

他の参加者

保護者氏名

印

令和 年 月 日

茨城県立石岡第二高等学校長 宮地 富雄 殿

様式2 ※申請書に添えて担任に提出

ラーケーション～体験活動推進日～

計画書

年 組 番 氏名

1 提出日 令和 年 月 日

2 体験活動日（期間） 令和 年 月 日（ ）
～ 令和 年 月 日（ ）

3 体験活動場所等

名称

所在地

電話番号

担当者（いる場合）

4 体験をしたい理由や目的、体験を通して学びたい内容 具体的に記入

5 体験活動の日程（1日の流れ）

様式3 ※A4 1～2枚にまとめる。

ラーケーション～体験活動推進日～報告書

年 組 番 氏名 _____

1 提出日 令和 年 月 日

2 体験活動日（期間） 令和 年 月 日（ ）
～ 令和 年 月 日（ ）

3 体験を通して学んだこと

※写真等を入れて、わかりやすくまとめましょう。

4 体験活動を生かした今後の目標や具体的な行動

保護者 氏名 _____ 印

ラーケーション～体験活動推進日～

計画書

2年 6組 1番 氏名 石岡 二夫

1 提出日 令和 8年 4月 13日

2 体験活動日（期間） 令和 8年 4月 24日（金）
～ 令和 8年 4月 26日（日）

3 体験活動場所等

名称 能登町災害ボランティアセンター

所在地 石川県鳳珠郡能登町△△ ホームページを添付

電話番号 080-7843-20XX 070-2669-2XX2

担当者（いる場合） 石川 太郎（電話対応していただいた方）

4 体験をしたい理由や目的、体験を通して学びたい内容 具体的に記入

2年生の時の総合的な探究の時間で小貝川について探究活動を行った。調べ学習で小貝川が過去に氾濫したことを知り、実際に小貝川の河川敷で清掃活動を行ったが、その際、今、小貝川が氾濫をした場合、どの程度の規模で被害が起こるのか調べてみたくなった。また、被害が起こった場合の避難所運営や早期に復興するためにはどのようなことが必要なのか、能登半島地震で河川の氾濫が起こった場所で震災ボランティアとして体験活動を行い地域の防災について考えたい。

5 体験活動の日程（1日の流れ）等

当日、ボランティアセンターでボランティア先を斡旋してもらえる
宿泊は、〇〇ホテルを予約 TEL 〇〇〇〇-××-△△△△
能登町までは公共交通機関を利用
能登町内の移動はボランティアセンターに確認中
父親と一緒に参加

ラーケーション～体験活動推進日～

計画書

2年 6組 40番 氏名 茨城 太郎

1 提出日 令和 8年 11月 1日

2 体験活動日（期間） 令和 6年 11月 11日（水）
～ 令和 年 月 日（ ）

3 体験活動場所等

名称 成田空港 中高生対象「体験型航空教室」

所在地 千葉県成田市古込字古込1-1

電話番号 0476-〇〇-△△△△

担当者（いる場合） 府中 一郎さん 対応者

4 体験したい理由や目的、体験を通して学びたい内容 具体的に記入

高校に入学してからの英語の授業が分かりやすく、興味関心をもって授業に臨んでいる。将来は英語を生かし観光地のホテルか空港の仕事を希望している。成田空港活用協議会が発行している「成田空港おしごと丸わかりBOOK」等を読んで、実際に体験したい思い、協議会に問い合わせ、千葉県の中高生が対象の「体験型航空教室」に参加できることになった。体験活動から、夢を叶えるために身に付けなければならないこと等を確認したい。

5 体験活動の日程（1日の流れ）等

日程は募集要項のとおり
成田空港までは、保護者による送迎